

学び・学校グループ

学び・学校グループの提案を始めます。

私たちのグループは、主体的な学びと学校生活の充実について話し合いました。

このことについて、2つの提案をしたいと思います。

提案1 「主体的な学びの充実」について

一つ目の提案は、主体的な学びの充実のうち「郷土学習と英語学習を活用した広島県の魅力発信について」です。

広島県には毎年国内外から多くの観光客が訪れていますが、ほとんどは世界遺産である「原爆ドーム」と「厳島神社」に行くことが目的だと思います。また、広島県を訪れる外国人観光客数の約8割が、広島市と廿日市市に集中しているそうです。

私たちは日本人だけでなく外国人にも、県内の有名な観光地以外にも様々な魅力があることに気付き興味をもってもらいたいと思います。そのためには国際共通語として多く使われている英語での会話が必須です。ですが、現在の授業では外国人観光客の方に、郷土の魅力について提案するような授業がありません。発信するためには、自分たちが主体的に郷土の魅力を調べたり、調べたことや自分の考えや気持ちを英語で伝えられるような英語の力を身に付けたりする場が必要であると考えました。

そこで提案です。英語の授業や総合的な学習の時間を活用して、主体的に広島県の魅力を英語で発信する取組を行ってはどうでしょうか。例えば小学校の授業で郷土の魅力を調べたり英語に慣れ親しんだりし、中学校の総合的な学習の時間で郷土の魅力を英語でまとめます。そして年に1回平和記念公園など場所を決めてまとめたことを発表すれば、多くの外国人観光客に広島の様々な魅力について知ってもらえるし、英語で書く、話す学習を通して使える英語力を育むことができると思います。

次に、「将来の夢の発見につながる授業について」です。

広島県が令和5年度に実施した「広島県子供の生活に関する実態調査」によると、将来進学したい学校がわからないと答えた小・中学生は約3割いたそうです。

私の周りにも将来の夢が決まっていない人が多く、友達が将来の夢についての授業で、やりたいことが決まっていないので適当に選んだ夢を発表していたのを見て、進路の選択に当たって必要な情報をもっと簡単に入手できればいいと思いました。

そこで提案です。自分の将来を考え、視野を広げるための授業を取り入れてはどうでしょうか。例えば、県教育委員会が作成したウェブサイト「ミツカル！ひろしまカンパニー」を授業で活用してはどうでしょうか。

自分たちのやりたいことを診断したり、興味のある分野でグループに分かれ、興味のある仕事に必要な資格などを調べたりできると良いと思います。実際に自分たちで見つけた会社に、自分たちでアポイントを取って訪問もしてみたいです。こうした主体的に学ぶ経験を通して、「自分のやってみたい」を見つけるきっかけとなり、進路の選択につながると思います。

答弁（教育長）

2つの御提案がありました。

まず1つ目の御提案である「広島県の魅力を英語で発信する取組」についてお答えします。

有名な観光地だけでなく、広島県の魅力を主体的に調べ、英語を用いて発信し、多くの外国人観光客に知ってもらうという取組は、英語力の向上だけでなく、郷土への愛着や誇りを育む大変有意義な取組であると思います。

このため、県内の小中学校では、総合的な学習の時間において、地域の歴史・文化・産業・自然を調べ、パンフレットやポスター、動画にまとめ、校内外に向けて発信するなど、郷土の魅力を探究し発信する学習活動を行っており、児童生徒の皆さんにとって、自分が住んでいる地域のよさを知り、そのよさを分かりやすく伝える機会となっています。

また、英語の授業では、相手に伝わるように伝えたい情報や自分の思いを表現したり、関心のあることを伝え合ったりするなど、英語によるコミュニケーションを大切にしている取組を進めており、一部の中学校では、オンラインで海外の学校とつながり、郷土の魅力を伝え合う取組なども行われています。

広島県教育委員会としても、御提案のような活動は大変意義のあることと考えており、総合的な学習の時間と英語の授業を関連させた活動など、各教科等の授業を関連付けた主体的な学習活動の充実に向け、学校の取組を後押ししていきます。

次に、2つ目の御提案である「将来の夢の発見につながる授業について」お答えします。

皆さんが、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくためには、自分の将来を主体的に考え、視野を広げていくことはとても重要なことです。

広島県教育委員会が開設したウェブサイト「ミツカル！ひろしまカンパニー」は、御提案いただいた、自分に向いている仕事を診断したり、仕事をするために必要な資格を調べたり、アポイントを取って、興味を持った企業を訪問したりするなど、広島県内の魅力ある企業とつながり、体験的・実践的な学びを進める際の手助けとなるウェブサイトです。

広島県教育委員会では、小中学生の皆さんが様々な職業に触れることができるよう、より多くの企業に登録していただくとともに、先生を対象とした研修を通じて、このウェブサイトを活用した授業が行われるよう取り組んでいます。

ぜひ、皆さんには、自分の好きなことや気になることをもとに、「自分のやってみたい」を見つけることができるよう、このウェブサイトを活用して、主体的な活動を進めていただきたいと思います。

広島県教育委員会では、今後も、児童生徒の皆さんにとって、自分の将来を考え、視野を広げるための授業が充実するよう、「ミツカル！ひろしまカンパニー」の登録情報を増やすとともに、ウェブサイトを効果的に活用した好事例を広く共有するなどの取組を進めていきます。

提案2 「学校生活の充実」について

二つ目の提案は、「学校生活の充実について」の提案です。

まずは、通学カバンについてです。

私は通学するときに、ランドセルが重くてしんどいです。タブレットや教科書を入れるともっと重くなり、体に負担がかかります。リュック型の通学カバンを使う中学生も、夏は背中部分が暑いそうです。

2025年に民間企業が実施した「ランドセルの重さに関する意識調査」では、ランドセルの平均の重さは約4kgもあり、9割の人が重いと感じているそうです。中学生になると教科も増えるし、問題集や部活動の荷物も増えて、さらに大変になると思います。

そこで提案です。県内の小・中学校で、使いやすい通学カバンのアイデアを子供たちから募集し、柔軟に取り入れられるようにしてはどうでしょうか。

例えば、美術や家庭科の授業でカバンの素材やデザインを学び、次にクラスや学年ごとに使いやすいカバンのアイデアをまとめます。そして県が各学校の案を審査して、特に良いアイデアを企業に試作品として作ってもらい、実際に私たちが使ってみて感想や改善点を伝えます。

そうすることで、自分たちの声が反映された通学カバンができて、学校生活がより楽しくなると思います。

次に、私は、学校にいじめや勉強のことで困っている子どもの声を聞いてくれる人がたくさんいる広島県になったらいいなと思います。

私は作文を書くことや自分の想いを文章にすることが苦手で、授業中苦労することがあります。しかし、先生にそのことを伝えることができていません。また、友達がいじめられていたとき、担任の先生に相談したけれど、その後もいじめが続いていたと聞きました。そんなときに、先生以外に相談できる大人がいたらいいと思いました。

そこで提案です。いじめや勉強など学校生活に関わることを、いつでも相談できる人を増やし、どの学校でも子供たちが相談できるようにしてはどうでしょうか。今でも、子供たちが学習面や人間関係などの悩みや不安を気軽に相談できる相談員という人がいますが、2025年の広島県「学校保健統計調査」では、相談員がいない小学校が64%、中学校は74%ありました。相談員のような人がどの学校にもいれば、いじめや勉強のことで困っている人がすぐに相談できて、より楽しい学校生活を送れるようになると思います。

答弁（教育長）

2つの御提案がありました。

まず1つ目の御提案である「通学カバン」についてです。

通学カバンなどの学用品については、それぞれの学校において、教育内容や経済的な負担を考えて指定されているものもあれば、特に指定の必要がなく定められていないものもあります。

この度の御提案は、児童生徒の皆さんが身近な課題を自ら解決しようとするものであり、学校生活を自分たちで考えてより良くしていこうとする上で大切なことだと思います。

広島県教育委員会では、学校に対し、校内の決まりを見直す際には、児童生徒の皆さんや保護者の方などの意見等を参考にすることが大切であると伝えています。

皆さんも、通っている学校の決まりを調べてみて、なぜ今の決まりになっているのか、どんな決まりが必要かなどについて、周りの友達や先生方と一緒に考えて、より良いアイデアを提案してみてはどうでしょうか。

次に、2つ目の御提案である「いじめや勉強など学校生活に関わることを、いつでも相談できる人を増やし、どの学校でも子供たちが相談できるようにすること」についてお答えします。

学校生活の中で感じている不安や悩みを気軽に相談できる場所が学校にあり、相談できる人がいることは、安心して学校生活を送るためにとても大切なことだと考えています。

このため、広島県教育委員会では、スクールカウンセラーなどの専門の相談員を学校に配置する取組を進めており、現在、全ての公立小・中・義務教育学校で、学校の先生以外の大人に相談できるようにしているところです。

また、学校外にも相談窓口を設け、毎年、県内すべての学校に「教育相談窓口紹介カード」を配付し、電話やSNSでいつでも相談できる方法をお知らせしています。

他にも、勉強のことで困っている児童生徒の皆さんを支援するため、保護者や地域の方、大学生のボランティアなどによる学習支援を実施している例もあります。

広島県教育委員会では、今後も、スクールカウンセラーなどの専門の相談員の配置を充実し、児童生徒の皆さんが安心して相談できる環境づくりを進めていきます。